



東京YMCA東日本大震災支援募金

—継続的な復興支援活動にご協力をお願いします—



2014年度募金目標額 1,000万円



仮設住宅での交流レクリエーションの様子

「テイラー基金YMCA国際交流プログラム」を開催しました

石巻市で英語教師として活躍し、東日本大震災で亡くなられたテイラー・アンダーソンさん(享年24歳)。「日米の懸け橋になりたい」という彼女の遺志を継ぎ、7月28日から8月3日、「テイラー基金YMCA国際交流プログラム」を開催しました。母校の米国バージニア州セントキャサリン高校から7人の高校生・卒業生が来日し、被災地の視察や、テイラーさんの教え子宅へのホームステイを経験しました。

8月1日は石巻地方最大のお祭り「石巻川開き祭り」に出店し、米国から持ち寄ったお菓子をを使ったアイスクリームサンデーを販売。地元の人たちとの交流を深めました。

東日本大震災より3年。継続したご支援をお願いいたします。

東京YMCAでは宮城県石巻市をはじめ、福島県内での子ども支援活動、都内避難者に対する避難生活サポート等を行っています。

石巻市では仮設住宅から復興公営住宅への集団移転が始まろうとしています。しかし、移転先である復興公営住宅への2014年度入居可能見込者は、希望者の2割に満たない状況です。先行きの見えない復興への途上ですが、これからも地元の方々の心に寄り添う支援活動を予定しています。継続的な支援活動には皆様のご協力が必要です。

引き続きのご支援、どうぞよろしくお願いいたします。



石巻市蛇田に建設中の公営住宅(2014年10月)

募金方法は裏面をご覧ください

公益財団法人東京YMCA 会員事務局

住所: 135-0016東京都江東区東陽2-2-20

TEL03-3615-5568 FAX03-3615-5578 E-mail: kaiin@tokyo.ymca.or.jp



■ 子ども支援活動【石巻】

被災地 障がい児・親子の支援活動

今夏、新しい試みとして、障がいのある子どもと保護者のための2日間のデイキャンププログラムを開催し、15名が参加しました。

障がい児を持つ保護者の話では、行政による障がい者のサポートは後回しになりがちであり、ボランティアによる支援の手もなかなか届かなかったそうです。学校と家庭以外でここまで人と触れ合う機会はなく、今回のデイキャンプは子どもだけでなく保護者にとっても大変有り難い時間になったと仰っていました。

今回のプログラムは東京YMCA社会体育・保育専門学校学生12名と講師1名が、普段の学びの専門性を活かしたプログラムを提供しました。



定例の子ども支援活動継続中

石巻市立石巻小学校での夏休みプール指導は、今年で4年目を迎えました。周りに遊び場が無い子どもたちのために2011年に始まったプログラムは、今では夏休みの恒例行事として定着してきました。

また、市内学童保育所へのボランティアリーダーの派遣を2012年より行っています。震災後市内の学童保育のニーズが高まり、学童クラブの新規開設が続く中で、YMCAの提供する安全で楽しいプログラムは子どもたちや保護者に好評です。またこのボランティアプログラムは、震災後に採用になった学童保育指導員のスキルアップにもなっていると行政からも評価をいただいています。

■ コミュニティ支援活動【石巻】

仮設住宅での生活支援ワーク

震災から3年半が経ち、仮設住宅から退出する方々も増えてきました。しかし高齢者は復興公営住宅の建設待ちのため、仮設住宅に取り残される傾向があります。今夏は高齢者住民のニーズに基づき、仮設住宅で手入れの手がなかなか回らない水回りやエアコンのお掃除手伝いや、敷地内の大規模な草刈り作業のワークを行いました。



漁業支援ワーク継続中

昨年より牡蠣養殖業者の支援を継続しています。牡蠣の販路拡大を狙い震災後に殻付きブランド牡蠣の生産に取り組み始めた牡蠣業者を定期的に訪問し、人出不足の浜仕事のサポートを行っています。また、全国のYMCAネットワークを用いて牡蠣の販売支援も行っています（牡蠣の出荷期間限定）

■ 心のケア活動【石巻】

震災体験を乗り越える、人との絆

長期化する避難生活の中で大変な思いをされている被災者の方々の心身の健康被害が深刻な問題となっています。「YMCA歌の広場in石巻」は、ボランティアが定期的に仮設住宅や高齢者施設を訪問し、これまでに延べ39回を開催。震災で辛い体験をした住民の方々は、震災があったからこそ出会えたボランティアとの心の交流を心待ちにしています。

全国のボランティアと被災地を繋ぐ

YMCA石巻支援センターでは、被災者のために何かをしたいというボランティアの活動サポートを行っています。ボランティア側の関心と、被災地の状況をマッチングし、地元ニーズに基づいた活動場所・ボランティア内容の決定を行っています。今年度は、仮設住宅での交流会、被災施設での慰問コンサート、農作業・漁業作業お手伝いといった活動をサポートしました。



■ 子ども支援活動【福島】

わいわいキッズプロジェクト継続中

福島県内で放射能の不安から外遊びを制限されている福島の子供たち・家族を対象に行っているYMCAリフレッシュキャンプは、2014年10月までに1910人をご招待しました。

また遠出のキャンプだけでなく福島県内で屋内で楽しく遊べるプログラムがあってほしいという要望から始まった「屋内子どもプログラム“わいわいキッズin郡山”」はこれまでに5回を開催。今年度からは幼児の参加も受け入れ、親子の参加で賑わっています。リフレッシュキャンプで出会ったリーダーとの再会を毎回心待ちにしている子どもたちもいます。



■ 募金によるご支援を下記にて受付ております

- 1) 東京YMCA窓口への持参
- 2) ゆうちょ銀行への振込み（郵便振替）
振替口座：00120-7-714728 公益財団法人東京ワイエムシイエイ 東京YMCA会員事務局
- 3) 銀行振り込み
振込先口座 ① みずほ銀行 神田支店 普通 1677931
② 三井住友銀行 神田支店 普通 7656469
名義（①②共通） 公益財団法人東京ワイエムシイエイ

★「東日本大震災」とお書き添えください。
★ 公益財団法人東京YMCAへのご寄付は寄付金控除（税額控除・所得控除）の対象となります。（確定申告が必要です）